

自主・創造・根気

第12号

令和2年12月25日
三田市立狭間中学校

信頼と凡事徹底

終業式講話（一部）

2学期を終えるにあたり、嬉しかったことを紹介しておきます。

12月初めに、学校の施設点検がありました。点検が清掃時間と重なり皆さんが掃除をしているところも一緒に見てもらうこととなりました。

その時、来校された3名の点検員さんが口をそろえて、狭中生が一生懸命に掃除をしている姿、校舎内が大変きれいに保たれていること、そしてたくさんの方が大きな声で挨拶をしてくれたことを大変ほめて下さいました。

体育大会や文化祭といった学校行事の頑張りをほめてもらうことも嬉しいですが、何気ない日々の生活を評価してもらったことは、それにも増して嬉しいことでした。

「凡事徹底」という言葉があります。平凡で当たり前のことを徹底して実践するという意味です。具体的には時間を守ったり、挨拶を丁寧にする、掃除をきちんと行う等、日々の生活にこだわり、きちんと取り組む姿勢を指します。では、なぜ「凡事徹底」が大切なのでしょう。平凡なことをおろそかにしない人は周囲に安心感を与え、その安心感が信頼へとつながるからです。目立つ場面では活躍できても普段の生活がいいかげんでは周囲の人の信頼は得られません。目立たないかも知れませんが、凡事を大切にすることはとても重要です。

私たちの学校が凡事を徹底し信頼される集団として評価されたことを大変誇らしく思うとともに、今後も「凡事徹底」の風土を一層狭間中学校に根付かせていって欲しいと思います。

また、このことは、勉強や運動においてもとても大切です。基礎基本や簡単なことができない人には決して難しいことはできません。そして、その簡単なことをやり続けることは心の強さを育てることにもつながっていきます。ぜひみなさんの日常生活にもつながって欲しいと思っています。

【保護者の皆様へ】

長かった2学期が終了しました。コロナ禍のもと3年生の修学旅行をはじめ多くの学校行事を行うに際し、保護者の皆様方に多大なご理解・ご協力を頂きましたことを深く感謝申し上げます。感染者が日々増加し、集団生活には多くの配慮を要するところですが、今後もできる限り感染症予防と教育活動の充実を両立させ、子供たちが本校で過ごせて良かったと思えるよう努力してまいります。来年もご支援ご協力賜りますようお願い致します。



皆さんの下校後、戸締りにまわっていると
いつもトイレのスリッパもきれいに
整頓されています。